

2025年3月期 第1四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社
<https://www.teac.co.jp/jp/>
証券コード：6803

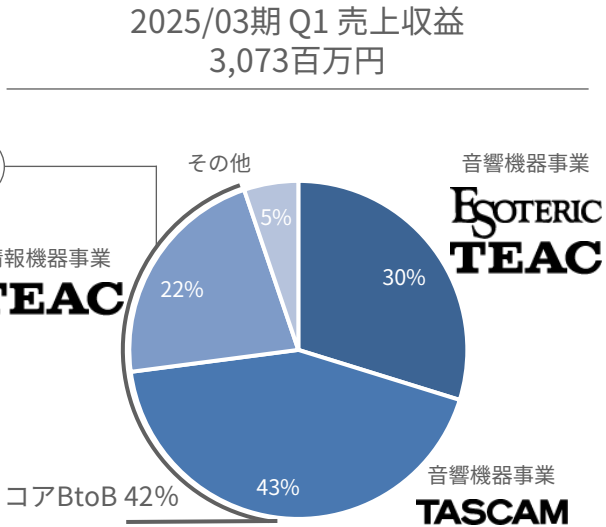
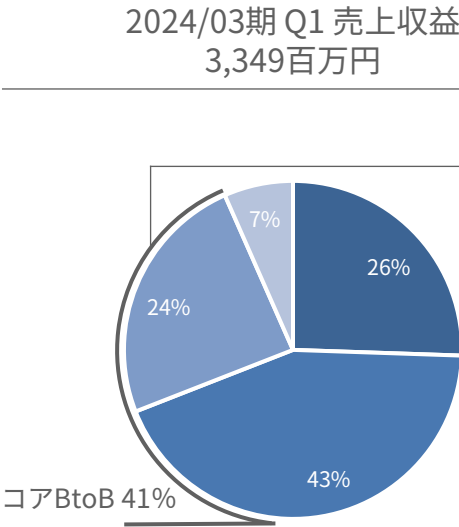
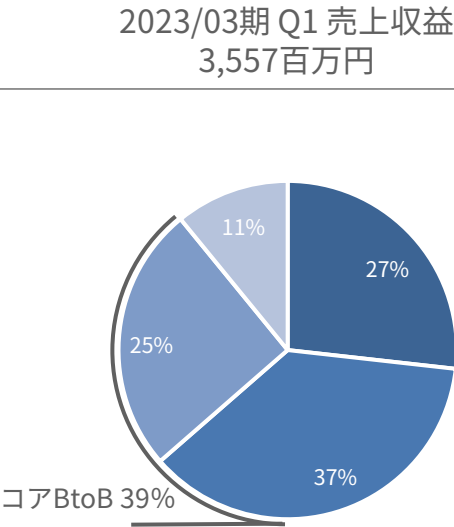
2024年8月9日

■ 2025/03期 第1四半期は、前年同期比減収増益（赤字縮小）

	2024/03期 Q1	2025/03期 Q1	前年同期比	(百万円)
売上収益	3,349	3,073	△ 276 (△ 8.2%)	• 主に情報機器事業の回復遅れと産業用光ドライブ事業の縮小により減収
営業利益（△損失）	△ 194	△ 275	△ 81 (-)	• 減収に伴い営業損失拡大
税引前利益（△損失）	△ 389	△ 398	△ 9 (-)	• 71百万円の為替差損が発生し前年同期比損失拡大 - 詳細は「 金融費用（為替差損）の計上に関するお知らせ 」（2024年8月9日発表）をご参照ください
四半期利益（△損失）	△ 400	△393	+ 6 (-)	• 前年同期比増益（赤字縮小）
資本合計	2,985	3,416	+ 431 (+ 14.4%)	• 前年同期比増
1株当たり親会社 所有者帰属持分	103.61円	118.59円	+ 14.98円	• 前年同期比増
自己資本比率	25.5%	28.8%	+ 3.3ppt	• 前年同期比増
フリー キャッシュフロー	△ 149	△ 54	+ 96	• 前年同期比増

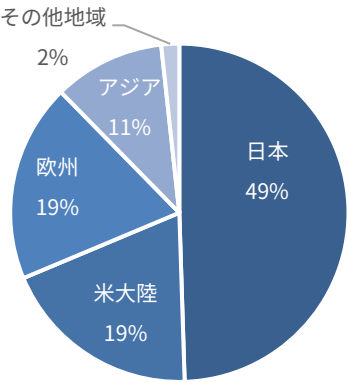
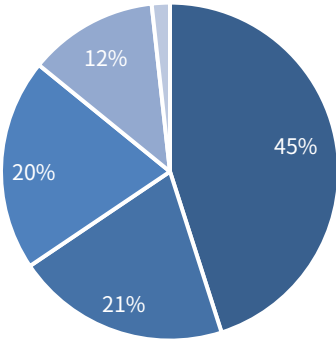
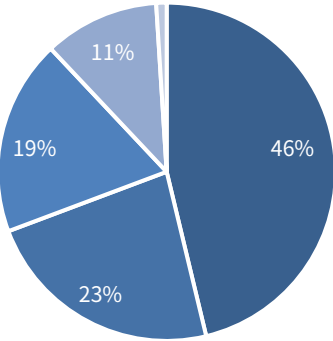
■ セグメント別

- 情報機器事業の回復遅れによりBtoB事業は△ 7%減収も、その他事業の縮小に伴い構成比は+ 1ppt増加

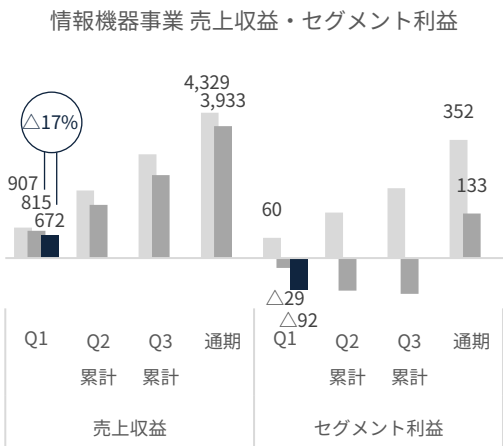
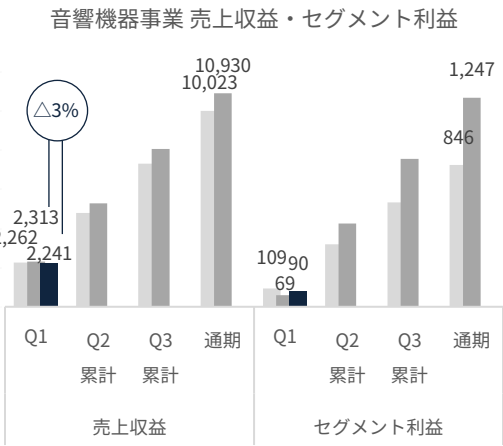
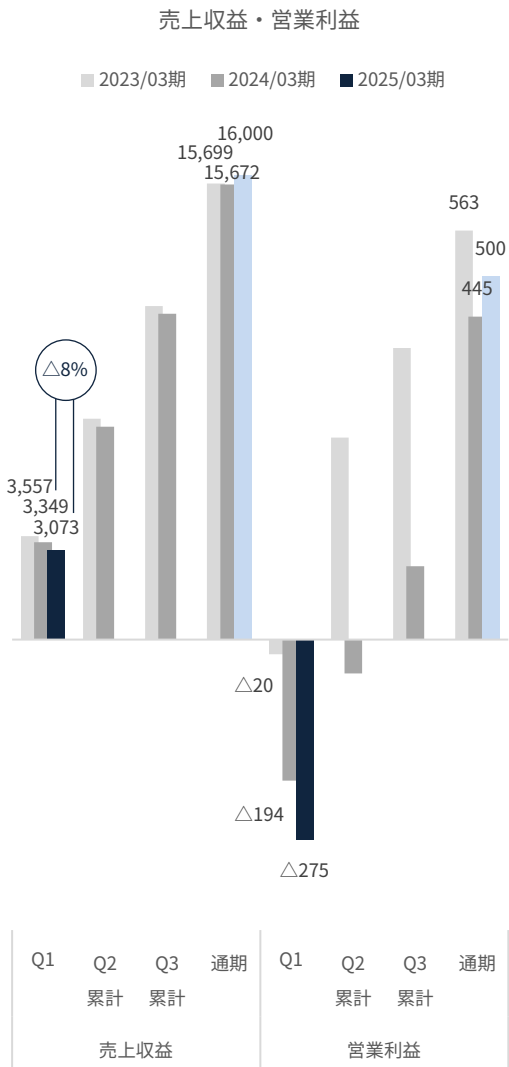


■ 地域別

- 海外は何れの地域も減収
- 欧米はその他事業の縮小に加え音楽制作用オーディオ機器の低調により構成比減



(百万円)

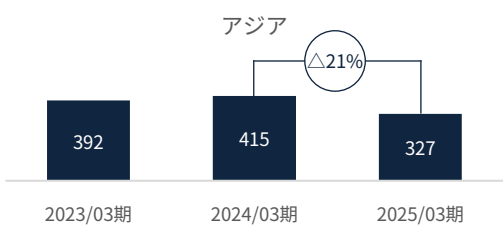
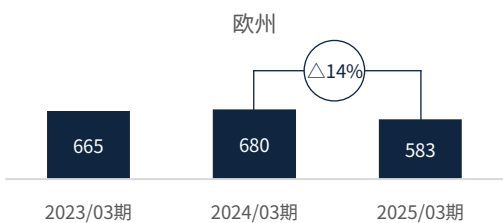
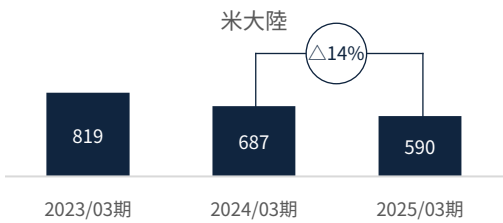
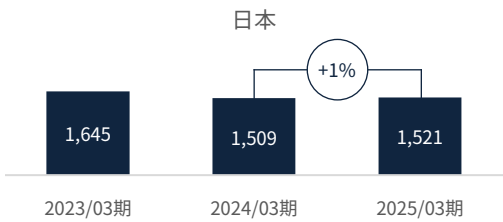
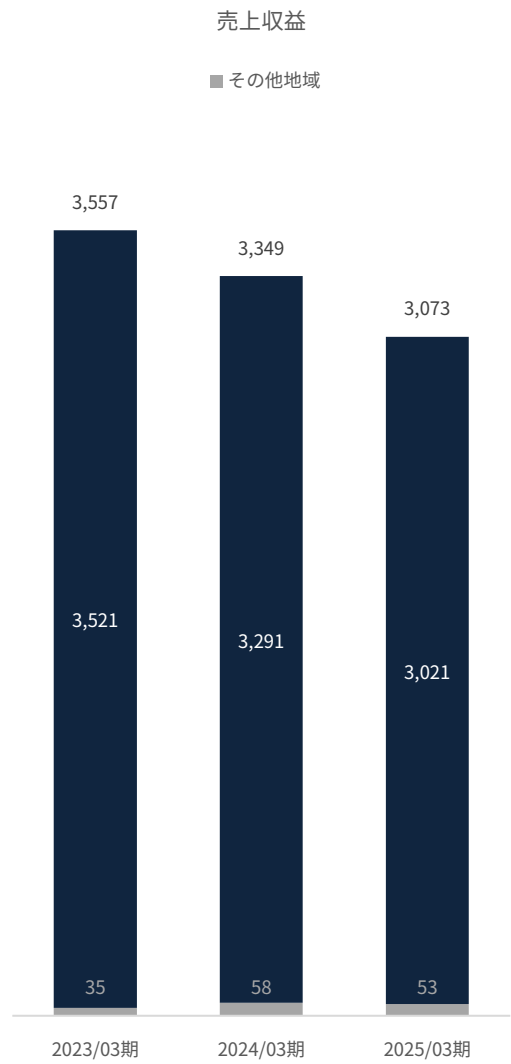


その他

- ・ プレミアムオーディオ機器 (ESOTERICブランドおよびTEACブランド)
 - ESOTERICブランドは、アンプカテゴリーが堅調に推移し、SACDプレーヤー、ネットワークプレーヤーなどのデジタルソース機器カテゴリー、および前期に上市したクロックジェネレーターが好調に推移。TEACブランドは、アンプカテゴリー、ターンテーブルカテゴリーが堅調に推移。輸入ブランドは、Klipschブランドのスピーカー、Tannoyブランドの新製品スピーカーが好調に推移。その結果、プレミアムオーディオ機器全体では前年同期比増収
- ・ 音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)
 - BtoB事業は、音響設備工事案件の需要増により主力録再生機の販売が好調に推移したが、前年同期に業務用ミキサーの海外での販売を開始したことによる反動減もあり、前年同期並みに推移。BtoC事業は、個人消費が弱く低調に推移。その結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前年同期比減収
- ・ 機内エンターテインメント機器
 - 海外市場における拡販に向けて、各地域のシステムサプライヤーとのパートナーシップ拡大が進み、引合いも大きく増加、国内エアラインからの開発受注もあったものの、機内サーバーの販売が低調に推移し、前年同期比減収
- ・ 計測機器
 - データレコーダーにおいては、国内・海外ともに防衛関連向けの出荷が好調に推移したが、センサーおよびデジタル指示計においては、需要が未だ回復途上にある半導体市場向けの販売が低調だったことから、計測機器全体では前年同期比減収
- ・ 医用画像記録再生機器
 - 手術画像記録用レコーダーが国内・海外ともに堅調に推移したが、国内向けの消化器内視鏡向けレコーダーは、前年度末に発生した駆け込み需要の影響で低調な推移となり、前年同期比減収
- ・ ソリューションビジネス
 - ネットワーク・インフラの保守が堅調に推移したことに加え、新規顧客開拓が進んだ受託開発案件の積上げにより、前年同期比増収
- ・ 前年同期比減収減益

2025/03期 Q1 地域別業績

(百万円、+は前年同期比増収、△は同減収)



- 音響機器事業
 - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
 - △ 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
 - + ソリューションビジネス
 - △ 計測機器、医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器

- 音響機器事業
 - +
 - △ プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
- 情報機器事業
 - + 計測機器、医用画像記録再生機器
 - △

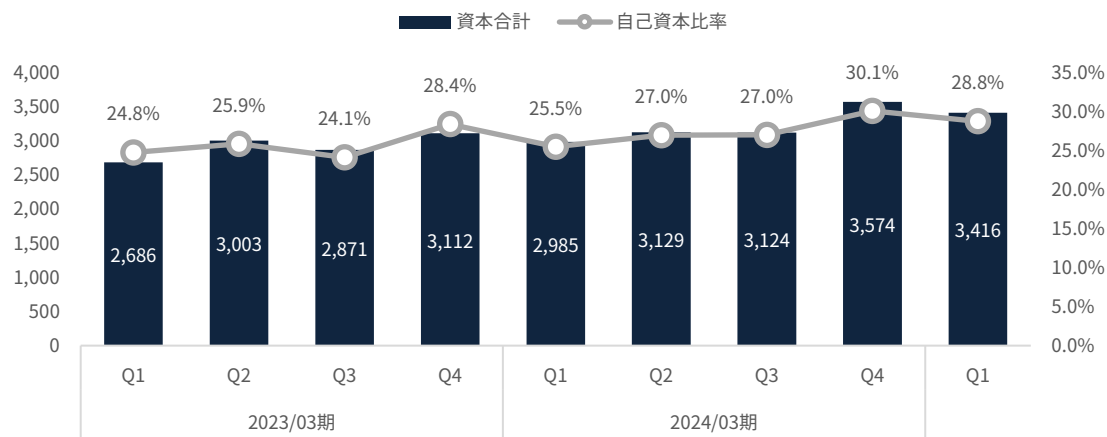
- 音響機器事業
 - + プレミアムオーディオ機器
 - △ 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
- 情報機器事業
 - + 計測機器
 - △ 医用画像記録再生機器

- 音響機器事業
 - +
 - △ プレミアムオーディオ機器、音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
- 情報機器事業
 - +
 - △ 計測機器、医用画像記録再生機器

2025/03期 Q1 自己資本比率・フリーキャッシュフロー

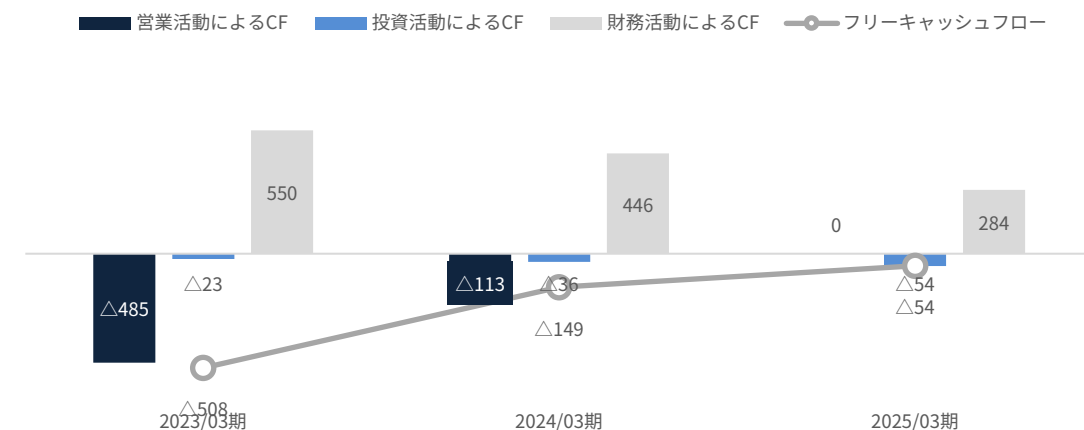
(百万円)

自己資本比率



- 資本合計：前年同期比+ 431百万円 (+ 14.4%) 増
- 自己資本比率：前年同期比+ 3.3ppt増

フリーキャッシュフロー



- フリーキャッシュフロー：前年同期比+ 96百万円増の△ 54百万円。営業キャッシュフローは前年同期比+ 113百万円増の0百万円

■ 2025/03期 通期予想は、前回予想（2024年5月発表）を据え置く

	2024/03期	2025/03期 予想	前期比	(百万円)
売上収益	15,672	16,000	+ 328 (+ 2.1%)	• 当社が比較優位性を持つ製品の適宜価格改定と併せ、期初発足の新事業体制の下、更なる戦略製品の導入と事業領域の拡大により増収を計画
営業利益	445	500	+ 55 (+ 12.4%)	• インフレや投資停滞などのリスクに対応すべく、デジタルとリアル両面でマーケティング投資増を計画
税引前利益	5	250	+ 245 (-)	• 増益計画
当期利益（損失）	△ 53	200	+ 253 (-)	• 黒字転換計画
資本合計	3,574	-	-	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	124.08円	-	-	
自己資本比率	30.1%	-	-	
フリー キャッシュフロー	10	-	-	

■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器

- 音元出版主催VGP 2024 SUMMER Awardsにて、新製品のUD-507特別大賞、部門金賞をはじめ、多数の製品が金賞を受賞



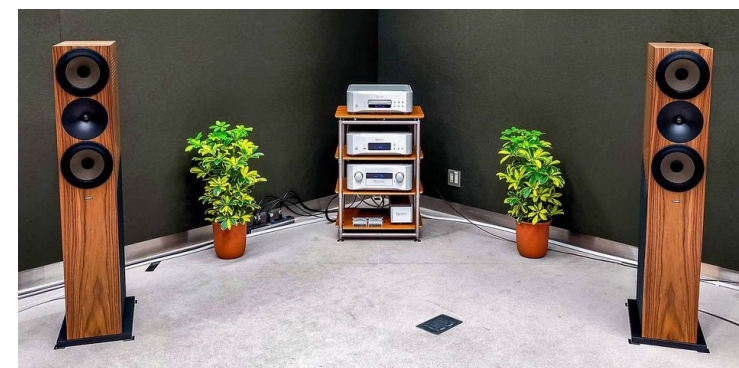
- ESOTERICのMaster Sound Discrete Clock for Digital Playerが企画賞を受賞



- 6月22日、23日に東京国際フォーラムで開催された「OTOTEN 2024」に出展。TEACブースでは、Klipsch HeritageシリーズとReference 700、500シリーズを組み合わせでデモンストレーション



- ESOTERICブースでは、フロリダ・インターナショナル・オーディオ・エキスポ 2024でBest Sound に輝いたシステムを再現



■ 音響機器事業 音楽制作・業務用オーディオ機器

- ・ 米国ラスベガスにて2024年4月開催の放送機器展示会「NAB Show 2024」、および6月開催の設備機器展示会「InfoComm 2024」に出展

世界的な見本市であるNAB Show 2024（4月）、InfoComm 2024（6月）に出展し、重要戦略商品である業務用デジタルミキサー『Sonicviewシリーズ』および放送業界の新スタンダードと期待される映像・音声ネットワーク伝送規格SMPTE ST2110に対応したオプションカードIF-ST2110（2024年夏発売予定）を展示。本年春に出荷開始した設備音響機器の新製品であるブルーレイプレイヤー『BD-MP1MK2』や多機能ミキシングアンプ『MA-BT240』その他も幅広く紹介。プロオーディオで世界最大級の市場規模を持つ同国各地からの訪問客で賑わい、当社ブースは終始熱気に包まれていた。



NAB Show 2024



Infocomm 2024

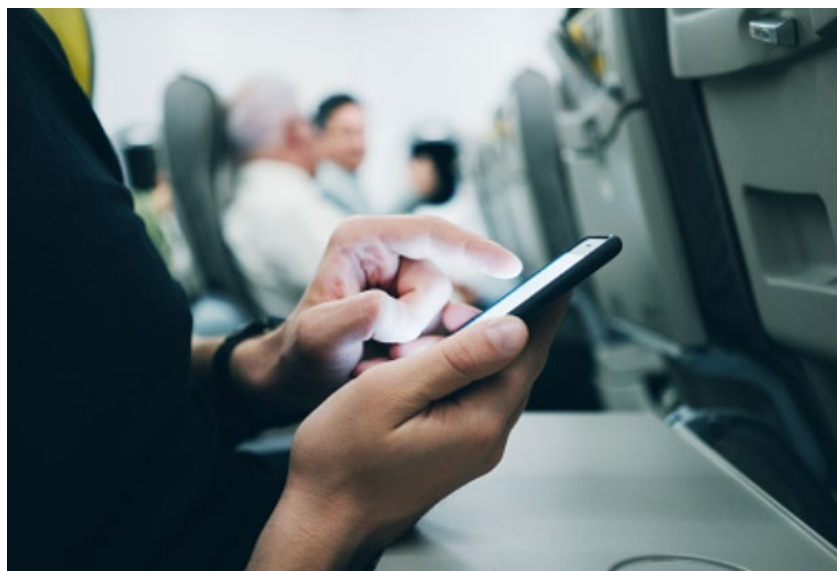
■ 情報機器事業 機内エンターテインメント機器

- ・ 印Forthcode社と航空機用の統合リテールシステムで業務提携

インド・バンガロールに開発拠点を置くForthcode社（CEO：Ajith Balakumar）は、エアライン、クルーズ会社、鉄道会社向けに統合リテールシステムを提供するリーディング企業で、世界各国で100社以上の顧客にサービスを提供し、航空業界にも数多くの導入実績を持つ。

この度ティアックは、機内エンターテインメントと機内サービスを組み合わせた、包括的な機内デジタルプラットフォームの強化に向けたパートナーとして、Forthcode社と業務提携。これにより、機内販売/機内サービスの運用と収益性を最適化させると共に、近年需要が高まっている低コストでの機内クレジットカード決済機能にも対応し、PS-V50 GEN2の商品価値を向上させることで、更なる事業拡大を目指す。

forthc<>de®



財務データシート (IFRS)

		(百万円)	2023/03期					2024/03期					2025/03期				
			Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2	Q3	Q4	
貸借対照表	流動資産		9,042	9,886	9,259	8,351		9,027	8,930	8,969	9,286		9,302				
	現金及び現金同等物		1,353	1,739	1,221	1,196		1,553	1,086	1,369	1,227		1,487				
	営業債権及びその他の債権		2,799	2,871	2,809	2,925		2,671	2,938	2,603	3,517		2,480				
	棚卸資産		4,566	4,998	4,877	3,862		4,512	4,638	4,662	4,214		5,082				
	その他の流動資産		324	278	352	368		291	269	336	328		254				
	非流動資産		1,804	1,720	2,634	2,607		2,673	2,663	2,593	2,585		2,571				
	資産合計		10,845	11,606	11,893	10,958		11,700	11,594	11,562	11,871		11,874				
	流動負債		6,266	6,430	6,161	5,316		6,242	6,018	6,249	5,434		6,051				
	社債及び借入金		2,904	3,030	2,900	2,042		2,749	2,663	2,965	2,110		2,882				
	リース負債		232	164	264	448		519	357	359	367		389				
	営業債務及びその他の債務		1,759	1,798	1,646	1,281		1,615	1,566	1,571	1,504		1,476				
	その他の流動負債		1,371	1,439	1,351	1,544		1,358	1,432	1,354	1,454		1,304				
	非流動負債		1,893	2,172	2,861	2,531		2,474	2,446	2,189	2,862		2,406				
	社債及び借入金		820	1,189	1,113	1,083		977	829	690	1,478		1,142				
	リース負債		64	42	870	685		790	913	849	792		710				
	長期未払金		833	793	729	689		622	626	573	511		472				
	その他の非流動負債		177	149	149	75		86	79	78	81		82				
	負債合計		8,160	8,603	9,022	7,847		8,715	8,465	8,439	8,297		8,458				
	資本合計		2,686	3,003	2,871	3,112		2,985	3,129	3,124	3,574		3,416				
	親会社の所有者に帰属する持分合計		2,686	3,003	2,871	3,112		2,985	3,129	3,124	3,574		3,416				
	非支配持分		0	0	0	0		0	0	0	0		0				
	負債及び資本合計		10,845	11,606	11,893	10,958		11,700	11,594	11,562	11,871		11,874				
	親会社所有者帰属持分比率		24.8%	25.9%	24.1%	28.4%		25.5%	27.0%	27.0%	30.1%		28.8%				
損益計算書	売上収益		3,557	4,044	3,879	4,219	15,699	3,349	3,977	3,890	4,457	15,672	3,073			3,073	
	音響機器事業		2,262	2,531	2,537	2,693	10,023	2,313	2,974	2,787	2,856	10,930	2,241			2,241	
	情報機器事業		907	1,108	1,075	1,238	4,329	815	774	884	1,460	3,933	672			672	
	その他		388	405	267	288	1,347	221	229	218	141	809	160			160	
	セグメント利益		226	485	345	398	1,453	75	385	384	584	1,427	13			13	
	音響機器事業		109	265	249	224	846	69	427	387	364	1,247	90			90	
	情報機器事業		60	76	72	144	352	△ 29	△ 68	△ 9	240	133	△ 92			△ 92	
	その他		57	144	24	30	255	35	26	6	△ 20	47	16			16	
	個別開示項目前営業利益		△ 20	299	123	162	563	△ 194	148	148	344	445	△ 275			△ 275	
	個別開示項目		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
	営業利益		△ 20	299	123	162	563	△ 194	148	148	344	445	△ 275			△ 275	
	税引前利益		△ 104	138	182	126	341	△ 389	32	179	183	5	△ 398			△ 398	
	親会社の所有者に帰属する当期利益		△ 109	140	150	124	305	△ 400	32	181	134	△ 53	△ 393			△ 393	
	キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー		△ 485	11	△ 204	972	294	△ 113	△ 98	239	88	116	0			0
投資活動によるキャッシュフロー			△ 23	△ 38	△ 29	△ 12	△ 102	△ 36	△ 18	△ 17	△ 34	△ 106	△ 54			△ 54	
財務活動によるキャッシュフロー			550	352	△ 242	△ 992	△ 333	446	△ 349	90	△ 256	△ 69	284			284	
フリーキャッシュフロー			△ 508	△ 27	△ 233	960	192	△ 149	△ 116	222	54	10	△ 54			△ 54	

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいている為、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。